

2017年8月1日

各位

会社名 シンプレクス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金子 英樹

DMM.com 証券の競走用馬ファンド管理システムを構築

「DMM バヌーシー」専用アプリと API 連携／ファンド管理業務をトータルサポート クラウド基盤としてアマゾン ウェブ サービス(AWS)を採用

シンプレクス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:金子英樹、以下:シンプレクス)は、株式会社 DMM.com 証券(本社:東京都中央区、代表取締役:谷川龍二、以下:DMM.com 証券)の新規事業として発足する競走用馬ファンド「DMM バヌーシー」*1において、ファンド購入に関するファンド組成や募集受付業務などを支援する「競走用馬ファンド管理システム」を構築しましたのでお知らせします。なお、本システムは競走用馬ファンド事業のコアシステムとして、8月5日に予定されている「DMM バヌーシー」専用アプリ*2のリリースに先駆けて、7月15日より稼働を開始しています。

■競走用馬ファンド管理システムの構築背景

従来の競走用馬ファンド事業は、競走馬1頭を40~500口に分けて共同出資する少人数制が主流のため、多額の出資が必要となることから、一般投資家が参加しにくい状況にありました。DMM.com 証券ではこうした状況に鑑み、「感動体験の共有」をコンセプトとして、募集口数を超小口化し、1万円から小額出資できる競走用馬ファンド「DMM バヌーシー」の発足を決定しました。本案件でシンプレクスは、DMM.com 証券向け FX ディーリングシステムの開発・運用実績に加え、高度な金融業務ノウハウと業界屈指のシステム開発力が評価され、事業パートナーとして選定されました。

■競走用馬ファンド管理システムの特長

(1)「DMM バヌーシー」専用アプリと API 連携／ファンド管理業務をトータルサポート

本システムは、競走用馬ファンドの購入に関するファンド組成や募集受付、所有する競走用馬ファンドのデータ管理、投資家(一口馬主)への配当金の計算・支払、法定帳票・管理帳票の作成まで、ファンド管理に必要なあらゆるバックオフィス業務を支援します。また、8月5日にリリース予定のゲーム調のUIを特長とする「DMM バヌーシー」専用アプリに対しても、API(アプリケーション・プログラミング・インターフェース)を活用することで、シームレスな情報連携を実現します。

(2)クラウド基盤としてアマゾン ウェブ サービス(AWS)を採用

本システムの基盤として、Amazon Web Services, Inc. が提供するクラウドコンピューティングサービス「アマゾン ウェブ サービス(以下:AWS)」を採用しました*3。AWS の採用にあたっては、金融システムとして要求される高度なセキュリティー要件を満たしている点に加え、拡張性・可用性を持ちながらコストを削減できる点が決め手となりました。今後もシンプレクスでは、金融業務に求められる厳しいシステム要件を満たしたクラウド基盤への対応を積極的に進めていく方針です。

*1 詳細については DMM.com 証券ホームページ(<https://banusy.dmm.com/>)をご参照ください。

*2 専用アプリの開発は、株式会社 OVER FENCE(本社:東京都港区、代表取締役社長:加藤賢)が手掛けています。

*3 アマゾン ウェブ サービス、AWS は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。